

# 事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・ グループホーム「風楽里」

## 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和3年8月20日（金）紙面での活動状況報告・意見、感想の聞き取り		
参加者		議題
利用者	2人	1. 活動状況報告 日常の風景（写真） 2. ご意見・ご感想 3. 身体拘束適正委員会
利用者家族（風楽里）	1人	
〃（笑楽日）	1人	
知見者	1人	
オブザーバー 市職員	1人	
〃 地域包括支援センター	1人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	3人	
活動状況報告に関するご意見・ご感想		

### 1. 施設の活動報告

幸いにも、利用者様、ご家族、スタッフにコロナ罹患者は出ておらず、濃厚接触者に該当される事態も回避されており、運営や、職員配置に影響は出ておりませんが、油断することなく、気持ちを引き締めてゆきたいと思っております。

ワクチン接種も終了しておりますが、引き続き、面会の制限、感染対策の徹底に努めてゆきたいと思っております。地域の方との交流は、かないませんが、利用者様には盛夏のはつらつとした喜びを感じて頂きたい、施設内での催しを企画しています。

### 2. ご意見・ご感想

#### 知見者様

- ・事務スタッフのワクチン接種も順調に進み、さらに安心が高まって良かったです。もうやっこネットの研修には良いものが提供されていますね。リモートにより、研修参加をしやすくなったスタッフさんもおられるのではと思います。コロナ禍における良い転換の一つかもしれません。

#### ご家族様

- ・いろいろな介護施設がある中で、利用者や家族の気持ちに寄り添って頂いている施設だと本当に感謝しています。自宅の延長のような家庭的な環境の中で、様々なレクリエーションや催し等、自宅では難しい体験をさせて頂いて、施設での生活が大変充実しているように思います。

#### 地域包括支援センター

- ・コロナワクチンは入居者様、スタッフ皆様接種されたようですね、手指消毒や毎日の消毒等、ご苦労様です。今後も消毒等、感染予防に努め、頑張ってください。宜しくお願い致します。

利用者様

- ・8月は誕生日でした。プレゼントありがとう。
- ・みんな知ってる人ばかりで楽しい。これからも手伝えることがあったらやらしてね。

高齢者福祉課

- ・レクレーションについて  
誕生日会や、おやつレクでは、どのようにメニューを決めていますか。  
また多くの利用者様に参加してもらうために工夫していることはありますか

以上が頂いた活動状況報告に関するご意見・ご感想でした。

事務局から

- ・緊急事態宣言下の中、健康でいられる幸せをかみしめつつ、皆様には、激励の温かいお言葉を頂き、一層気を引き締めて職務に励む所存です。
- ・ご質問のレクレーションについてお答えします。  
誕生日会は、各利用者様個人のお祝いとして、おひとり様を基本にお祝いしており、風楽里では、ご本人の“したいをかなえる”機会として事前にご本人からリクエストを頂いております。笑楽日、風楽里ともスタッフ全員が、担当として利用者様数名を受け持ち、お祝いをしております。おやつレクでのメニューは事前にリクエストを募ったり、季節感を大切に、準備の段階から参加して頂き、雰囲気盛り上げたり、スタッフも一緒に楽しんでいます。

### 3. 身体拘束適正委員会

知見者様

- ・Y字型拘束帯は医療機関においては、当たり前で使用されていますが、運営推進会議の場で「医療現場と介護現場（生活の場）」では考え方が違うのだと教えていただき納得しました。るんるんではY字型拘束帯を使用しない介護に取り組んでおられますが、それにはとても多くのまた細やかな介護力が必要だと思います。そのため、Y字型拘束帯を使った介護を選択する施設もありますので、貴法人のスタッフの介護力の高さとそれを可能にする環境づくりに努めていることがわかります。

ご家族様

- ・身体拘束は本来避けるべき行為だと思います。ただ、介護する側の体制等を踏まえたうえでご本人やご家族のお考え（何を最優先するか）によっても異なってくると思います。差し障りのない意見になってしまいますが、ケースバイケースでその都度話し合いのうえで決定するのが望ましいと思います。

地域包括支援センター

- ・身体拘束については本当に難しい課題です。本人家族やスタッフ関係者の方で、何度も話し合い、よりよい方法を検討していく事が重要だと感じています。

#### 高齢者福祉課

- 転落防止のために、どのような場面で、2人での介助を行っていますか。またクッションを用いたことで、転落防止の効果が見られていますか。

#### 事務局より

- 二人介助は、歩行時や、移動時など不安定な場合に二人で対応しています。車椅子に移った際は、クッションを胴回りにかい、テーブルにつけて、フットレストから足台（オットマン）に両足を載せ替える、膝裏にもクッションを使用し、前傾を防止するようにしています。以上のような対応をすることによって、転落事故は起こっていません。
- 8月のスタッフミーティングの書面開催時に、新たに、スピーチロックについて、資料を使い、周知徹底を図っています。

以上、令和3年度 第3回 運営推進会議の開催報告書とさせていただきます。